施策15

快適な都市基盤の整備 (全 10 事務事業)

施策15.快適な都市基盤の整備

● 施策評価表

	I=+0==I/
	掲載開始 ページ
(経営企画課)	15-1
(経営企画課)	15-3
(都市整備課)	15-5
(都市整備課)	15-7
(都市整備課)	15-9
(都市整備課)	15-11
(都市整備課)	15-13
(都市整備課)	15-15
(都市整備課)	15-17
(都市整備課)	15-19
	(経営企画課) (都市整備課) (都市整備課) (都市整備課) (都市整備課) (都市整備課) (都市整備課) (都市整備課) (都市整備課)

	施策評	呼価表 (事業実施年度:令和 04 年度)	前期	期基本計画期間 《令和3年度~7年度》
体総 合 計	基本目標	5. 環境にやさしく快適に暮らせるまち	施策統括課	都市整備課
計 系画	施策	15. 快適な都市基盤の整備	関係課	経営企画課、上下水道課

1. 施策の成果指標の達成度

1. 施策の成果指標の達成度		+ >+ 1+			
成果指標 (関連する町の取り組むべきこと)	単位	基準値	R4目標値	実績値の年次推移	判定
(関連する町の取り組むへさこと)		日標の方向性	R4実績値		
自宅周辺の身近な道路の 利用しやすさに満足している		61.1	61.9	66 % <u>目標値 △</u> 実績値 ● 64 62	
町民の割合	%	7	64.9	60 58 61.5 61.9 62.2 62.6 63.0	a
15-1		Ť		基準値 R3 R4 R5 R6 R7	
狭小な土地分譲 (分譲の平均が140㎡未満)の割合	0/	30.7	18.4	35% 目標値 △ 実績値 ● 30.7 △ 30.7 △ 24.6 △ 5.3 18.4 6.2 12.3 △ 6.1 △	_
15-2	%	7	6.2	10 5 0 5:3 18.4 _{6.2} 12.3	a
15-2				U.U	
身近な公園や広場の 利用しやすさに満足している	0.4	62.8	64.5	80% <mark>且標値 △ 実績値 </mark>	
町民の割合	%	7	78.4	65 60 55 63.6 64.5 65.3 66.2 67.0 55 編集備 R3 R4 R5 R6 R7	a
15-2				基準値 R3 R4 R5 R6 R7	
巡回バスの利用者数【総合戦略】		82,330	83,398	85,000人目標値 公実績値 ・	
	人	_		KÕ'ÕÕÕ	С
			52,850	55,000 50,000 事業績 R3 ^{51,116} R4 R5 R6 R7	
15-2		<u> </u>		基準値 R3 ^{51,110} R4 R5 R6 R7	
給水制限や断水の発生日数 (自然災害や計画的な工事等によるも		0	0	5日 貝標値 △ 実績値 ● 4 3	
のを除く)	日	\rightarrow	0	2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0	а
15-3				基準値 R3 R4 R5 R6 R7	

達成度:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

2. 町が取り組むべきことの実施状況と方向性

15-1 安全で便利な道路環境を整える	 所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中)	#7 士 較 /共 :==
安全で便利な道路環境の整備 6 位 / 51 位	10 10 20 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11

	町が取り組むべきこと①	慢性的な交通渋滞の対策や交通の利便性向上のため、都市計画道路「志免宇美線」の早期完成を目指し、 関係機関に働きかけます。
	主な取り組み状況	・事業推進に向けて関係機関協議などを行った。また、必要な予算を負担した。
	課題	・道路用地取得に協力するが、スムーズな購入が困難である。
	R6年度取り組み方針	・事業進捗の為、関係機関に働きかける。
	町が取り組むべきこと②	交通量など様々な要素を考慮し設定した各計画に基づき道路拡幅、歩道整備、舗装や橋梁を改修すると ともに、通学路の交通安全対策や水路への転落防止対策を行います。
	主な取り組み状況	・各計画にの優先度により設計、工事などを進めた。
	課題	・急速に環境の変化や道路施設の老朽化が進んでいる。
	R6年度取り組み方針	・各計画に基づき設計、工事などを進める。
		町が取り組むべきことの達成状況
	町が取り組むべきことを実施し、	ほぼ目標どおりの成果をあげている
] 町が取り組むべきことを実施した	
L	」町が取り組むべきことを実施でき	ず、成果があがっていない

<u>施策15</u>

			ᡮ	構成する事務事業(評価	西対象事業のみ)												
		事務事業名			事務事業計	平価(転記)			扩	西策評価								
番号		事務事業の概要				事業費(千円)		今後の	優先	施策評価								
号		担当課	会計区分	経費区分	R3 決算	R4 決算	R5 予算	方向性	度	での方向性								
		道路維持管理事業		特定財源	1	1	10	D		D								
				一般財源	124,200	134,707	111,716											
1	る修繕、専	lに通行できるよう、日常パトロール 門業者による舗装工事、樹木管理、	ノや通報等によ 草刈などを行	合計	124,201	134,708	111,726	成果・費 用とも	0	成果・費用 とも維持								
	う。	±n-±- /++=m	60.0=1	(内 会計年度任用職員人件費)	1.00	1.40	1.50	維持										
		都市整備課	一般会計	関与 正職員数(人)	1.83	1.43	1.50											
		道路新設改良事業		特定財源 一般財源	29,200 80,601	126,400 164,690	51,300 49,320	D		D								
2	道路の現状	や町内会からの要望等により、道道	 路の新設や改	合計	109,801	291,090	100,620	成果・費 用とも	_	成果·費用								
	良を行う。			(内 会計年度任用職員人件費)				用とも		とも維持								
	 都市整備課 一般会計			関与 正職員数(人)	1.60	1.14	1.02	小庄17万										
\vdash			ЛХСОІ	特定財源	10,775	7,006	13,200	D		D								
		橋梁維持管理事業		一般財源	12,163	9,479	13,200											
3		かつ円滑に通行できるよう、日常 る修繕等の維持管理を行う。	合計	22,938	16,485	26,504	成果・費 用とも	_	成果・費用 とも維持									
	期に使によ			(内 会計年度任用職員人件費)				維持		この非母								
		都市整備課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.37	0.40	1.00											
	交通安全施設整備・維持管理事業 町内会からの要望や道路パトロール、交通安全プログラムな どに基づいて、交通安全施設の整備を行う。			特定財源	17,470	30,615	23,560	D		D								
				一般財源	24,575	23,714	16,247											
4				合計	42,045	54,329	39,807	成果・費用とも	成果・費用 とも維持									
	CICTIV		45 A = 1	(内 会計年度任用職員人件費)				維持		C O业E1/1								
		都市整備課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.70	0.75	1.05											
	都市	計画道路志免・宇美線建	設事業	特定財源	0	0	0	D		D								
	HII-F			一般財源	0	0	0	 #										
5	都市計画道	路志免・宇美線の早期完成に向け	た取組を行う。	合計	0	0	0	成果・費 用とも 維持	_	成果・費用 とも維持								
		±/7 → = = = = = = = = = = = = = = = = = =	6几△=1	(内 会計年度任用職員人件費)	1 70	1 40	1 20	維持		_ 0,1,2,3								
		都市整備課	一般会計		1.70	1.40	1.20											
		が担害業の大力性を内容		り組むべきことを構成	<u> </u>	力问性												
	ビルド	新規事業の方向性や内容	なし															
		拡充事業の方向性や内容	なし															
		廃止事業の方向性や内容																
	(クラップ	縮小事業の方向性や内容	なし															
	R6 ²		≤の方向性	□ 最優先 □ 優先 □ 維持				B優先 B 優先 B B B B B B B B B B B B B B B B B B										

15-2 快適な住環境を整える ≪重点取組≫	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中)	都市整備課
公園の適正管理や公共交通の利便性向上など快適な住環境の整備 27 位 / 37 位	印印並網球

町が取り組むべきこ	世の都市計画の基本方針を定めた「志免町都市計画マスタープラン」に基づき、各地域の特性にあった土地利用を促進します。
主な取り組み状	・志免迎田・吉原地区において、志免町都市計画マスタープランに基づき、当地域のまちづくりに関する住 民説明会を開催し、市街化区域への編入に向けて、町の方針を提案した。
課題	・都市計画道路の整備が進められていること等により、市街化調整区域における開発圧力が高まっている。
R6年度取り組み	・一部の市街化調整区域において、都市計画基礎調査のデータを基に、人口フレーム等の検証を行い、本地域の動向や将来予想等を踏まえ、数値等による現状把握と市街化区域編入への根拠を整理する。
町が取り組むべきこ	米に対し適切に指導します。 新たな開発事業による住環境の悪化を防ぐため、「志免町開発事業指導要綱」に基づく協議により事業者に対し適切に指導します。
主な取り組み状	:開発指導要綱に基づく事前協議を行った。
課題	・1区画あたりの敷地面積が狭小(140㎡未満)な宅地分譲計画が増加している。
R6年度取り組み	方針・引き続き地域の特性に合わせて、開発事業指導要綱に基づく協議を行う。
町が取り組むべきこ	と③ 公園の適正管理により、緑豊かな環境の創造と安心して利用できるスペースの提供を行います。
主な取り組み状	・遊具のみならずトイレやベンチ、照明灯などの公園施設の修繕及び樹木の剪定を行った。
課題	・設置からかなりの年数が経過した公園も多く、施設の老朽化が顕著となってきている。
R6年度取り組み:	方針 ・公園を安全に利用できるよう樹木管理や清掃、遊具の修繕を行う。
町が取り組むべきこ	と④ 快適な暮らしと町内の衛生環境を保つため、下水道施設を計画的に更新するとともに、下水道事業の健全な経営を行います。
主な取り組み状	・マンホール鉄蓋を浮上防止や耐スリップ性のあるものに更新するなど、ストックマネジメント計画に基づいた計画的な施設更新を実施した。
課題	・下水道管渠の老朽化が進んでいる。
R6年度取り組み	
町が取り組むべきこ	と⑤ 町内公共施設などを利用する際の利便性向上のため、地域公共交通に係る専門部署を設けて、巡回バス を運行するとともに、時代やニーズにあった町内の交通手段について調査、研究します。【総合戦略】
主な取り組み状	・町民の公共交通に対するニーズやオンデマンドバスの利用意向を調査するため、公共交通アンケートを実施した。 ・地域公共交通会議を開催し、オンデマンドバス運行に向けた取組を進めることについて関係者で合意を形成した。
課題	・福祉巡回バスとオンデマンドバスを比較すると、利便性は向上する一方で運行にかかる財政負担が大きい。 ・民間の公共交通機関の経営環境は厳しく、運賃改定や減便などにより新たな交通課題が発生する可能性がある。
R6年度取り組み	・町内の移動の利便性向上のためにオンデマンドバスを運行し、持続可能な交通機関となるよう、利用者 増に向けた普及啓発及び運賃以外の収入確保に向けた取組を同時に進める。 ・民間公共交通機関の運行状況を注視しながら、オンデマンドバスの運行改善について地域公共交通会議 で適宜協議する。
町が取り組むべきこ	と⑥ 高齢化がすすむ戸建ての住宅団地において、多世帯住宅や平屋住宅、バリアフリー住宅を建築しやすくするなど、時代と地域特性にあった建築規制の見直しを行います。【総合戦略】
主な取り組み状	・建築規制の見直しを行っている先行自治体の事例や緩和手法を調査した。
課題	・住民ニーズに合った建築規制の把握や、見直しに対する住民との合意形成がまだできていない。
R6年度取り組み:	方針・令和5年度に実施する建築規制緩和に向けた検証を踏まえ、都市計画決定に関する諸手続きを進める。

_				町が取り組むべきこん	との達成状況					
_		組むべきことを実施し、ほぼ目標ど		げている						
	」町が取り	組むべきことを実施したが、成果が	あがっていない							
	町が取り	組むべきことを実施できず、成果が	があがっていない							
			T T	構成する事務事業(評	価対象事業のみ)				
		事務事業名			事務事業許	平価(転記)			が	電策評価
番号		事務事業の概要				事業費(千円)		今後の	優先	施策評価
号		3.333 3.514.4 15.02		経費区分	R3	R4	R5.	方向性		での方向性
		担当課	会計区分	4-504	決算	決算	予算		<i>ا</i> م	
		福祉巡回バス運行事業	業	特定財源	17,000	310	10 100	G		G
	ļ			一般財源	17,900	19,350	19,180			
1	町民の町内	移動の利便性向上のため、無料の	福祉巡回バス	合計	17,900	19,660	19,180			終了廃止
	を運行する	•	ŀ	(内 会計年度任用職員人件費)				止		N.S. 7 1267T
		経営企画課	一般会計	関与 正職員数(人)	0.80	0.52	0.39			
	1	1=		特定財源	-	0	0	D		D
	ᅬ	也域公共交通会議運営事	手耒	一般財源	_	77	144			_
2	デマンド交:	通の実証運行など今後の最適な公	:共交通につい	合計	_	77	144	成果·費	_	成果·費用
_	て検討をす	るため、地域公共交通会議を設置し	して、交通関係			, ,	14	用とも		とも維持
	者による協		<u> </u>	(内 会計年度任用職員人件費)	-	0.62	0.62	維持		C O业E173
	<u> </u>	経営企画課	一般会計	関与 正職員数(人)	-	0.73	0.63			
] ;	オンデマンドバス運行事	業	大学 特定財源 一般財源 一般財源	-	-	61,736			D
			-	一般知源	_	_	0			
3	町氏の日吊 性向 Lのた	『生活に必要な交通手段の確保と町 』め、デマンド型交通の運行を行う。	「内移動の利使」 「今和5年度新	合計	-	-	61,736		\circ	成果·費用
	規事業】	め、アマンド至又旭の座目で1170	「中国の十一区を	(内 会計年度任用職員人件費)	_	_				とも維持
	790-5-21-2	経営企画課	一般会計	関与 正職員数(人)	_	_	0.86			
H	 	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	川大人口口	特定財源	0	1,143	0.80	D		D
		都市計画事務		一般財源	4,672	4,816	9,789			
,						·	,	成果·費		中田 井田
4	町の都市計	-画に沿った土地利用を推進する取	合計	4,672	5,959	9,789	用とも	0	成果・費用	
]			(内 会計年度任用職員人件費)				維持		とも維持
		都市整備課	一般会計	関与 正職員数(人)	1.00	0.95	0.66			
	国鉄炭	鉱跡地共同管理執行協	議会事業	特定財源	0	30,959	0	D		D
				一般財源	572	580	602			
5	国鉄志免炭	鉱跡地の管理が適正に行われるよ	こう、粕屋・志	合計	572	31,539	602	成果・費	_	成果·費用
	免・須忠国銀番により運	鉄炭鉱跡地共同管理協議会を3町で 党する	で2年ことの輪					用とも 維持		とも維持
	笛にのフた	都市整備課	一	(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	0.42	0.46	0.36	北王14		
Н	 	<u> </u>	一般会計	関子 止碱貝数(人) 特定財源	0.42 44,792	0.46 34,030	0.38 6,200	D		D
		公園管理事業	ŀ	一般財源	179,590	153,175	164,478			D
ا ا	<u> </u>			13.11.5.11.5.				成果·費		" # m
6		広場を安全で快適に利用できるよ		合計	224,382	187,205	170,678	用とも	_	成果·費用
	樹不官埋や	遊具の点検、修繕等の管理を行う。	0	(内 会計年度任用職員人件費)	(12,881)	(12,696)	(14,416)	維持		とも維持
	<u> </u>	都市整備課	一般会計		0.88	1.46	1.10	l!		
				り組むべきことを構成	成する事業の	方向性				
		新規事業の方向性や内容	なし							
	ビルド									
			+>1							
		拡充事業の方向性や内容	なし							
		廃止事業の方向性や内容	•福祉巡回/	ベス運行事業は、令和	6年3日で廃	止する。				
		光江寺未びがらにいら	1用111/20日1	(人)注目 ず木(の) 1-1日	O+3/3 C//6.	шуо₀				
ス	(クラップ									
		縮小事業の方向性や内容	なし							
		THE STREET STREET	U U							
				√ 最優先						
	R61	∓度の町が取り組むべきこと	一の方向性	□ 最優先 □ 優先						
	110	FI交の 1974人 7 11年も、こここ	_07711-11	□ 優元 □ 維持						

	町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中) 安全な水の安定供給 1 位 / 2 位 上下水道課											
	町が取り	組むべきこと①	安心して営を行い		安定して供給するため	か、水道施設	を計画的に更	更新するとと:	もに、水	道事業	の健全な経	
	主な取り組み状況 ・配水管を耐震性のあるものに順次更新し、また、渇水に備えた水源確保のため、高度浄ポンプ施設を設置するなど、水道事業ビジョンに基づいた計画的な施設更新を実施した										没内に井戸	
	課題 ・水源余裕率は同規模事業体と比較して低い水準にある。											
	R6年度取り組み方針 ・水道水の安定供給のため、健全な水道事業経営を行うとともに、老朽化施設の更新や耐震化工事、水流の確保を進める。										工事、水源	
	町が取り組むべきことの達成状況 ☑ 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている Ⅲ 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない Ⅲ 町が取り組むべきことを実施できず、成果があがっていない											
		= 7n = **		A A	構成する事務事業(評価	対象事業のみ)				-00 -00/0	
釆		事務事業					平価(転記) 事業費(千円))	A 1/2: =		策評価	
番号		事務事業の 担当課	概 要 ———	会計区分	経費区分	R3 決算	R4 決算	R5 予算	今後の 方向性	優先 度	施策評価での方向性	
		※評価対象事	業なし		特定財源 一般財源					1		
1					合計 (内 会計年度任用職員人件費)	0	0	0				
				MT-4.200	関与 正職員数(人)り組むべきことを構成	ナナス市界の	+					
	ビルド	新規事業の方向性	生や内容		り祖むへごことを構力	<u>(9 0争未の</u>	力凹土					
	ראר	拡充事業の方向性	生や内容	なし	il.							
マ	クラップ	廃止事業の方向性	生や内容	なし								
		縮小事業の方向性	性や内容	なし								
	R6²	羊度の町が取り組 む	ごべきこと	≤の方向性	□ 最優先 □ 優先 □ 維持							
3.	施策の約	総括と今後の展開										
回梁	施策15の成果指標の達成度については、概ね目標を達成し、順調に施策を推進できたと考える。唯一達成できていない「巡回バスの利用者数」については、オンデマンドバスの運行開始により、利便性向上を目指していく。その他、都市計画、道路、橋梁、交通安全等については、各方針・計画に基づき事業を推進していく。また、上下水道事業については、今後も引き続き健全な経営に努めていく。											
4	施策の近	维行状況										
	目標に向 目標に向 目標に向	当りへん けって順調に進んでいる けってある程度順調にな けってあまり進んでいない けって進んでいない	進んでいる									

[福岡県志免町]

基本情	青報	√令	和04年度 実施計画事業					事務事	業コード	05	515201
叫	事務事業名		福祉巡回バス運行事業		担当課	経	営企画課	担当	当係	政策	策推進係
総体	施策	15	快適な都市基盤の整備	予	会計款	01	一般会計 民生費				
総合計画系	取り組み方針	15-	快適な住環境を整える	算 科 目	項		社会福祉費				
四ボ	「日人・フルログ・フリルト	2			目	01	社会福祉総	務費			
根护	処法令条例等		志免町福祉巡回バス運行事業実施要綱	個	固別計画						
実施	期間 🔲 04	1年度0	Dみ ✓単年度繰返 H 16 年度より開	始		□ 期間	引限定(複数年	.)	年度~	,	年度

1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象 (誰を、何を)	⑦町民	人	46,518	46,638	46,750
事	(誰を、門を)	0				
の目的	②意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	町内を移動しやすくなる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	シーメイトや役場等を経路とした無料で利用できる福祉巡回バスの運行 24便運行、月曜日[月曜日が祝日の場合は翌日]と年末年始は運休) ・無料の福祉巡回バスの運行業務を委託にて実施、委託業者との連絡調 ・バスの法定点検や修繕事務		(6コース	、3台バス	ス、1日

(2)指標達成状況

(-/)		7.00							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	運行日数	1	日	目標	306	306		99.0%
	7,4,3	213122			実績	306	303		2 2 1 2 7 3
1	成果	巡回バス利用者数	1	Y	目標	82,864	83,398	84,560	63.4%
	IX. X		ı	人	実績	51,116	52,850		03.470
ウ	成果	利用者1人当たりの経費(参考)		円	目標	202	234	227	41.0%
	以木	≪経費/巡回バス利用者数≫	•	ΙJ	実績	350	372		41.076
I					目標				
					実績				
オ					目標				
\]					実績				
カ					目標				
73					実績				

(3)総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	念、地方債	0	0	0	0		
事	4-	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	825	310	0		
未	費	一般則	才源	17,900	18,666	19,350	19,180		
費		合計((A)	17,900	19,491	19,660	19,180	18,666	
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	6,034	2,599	3,977	3,027		
		トータルコスト(<i>A</i>	()+(B)	23,934	22,090	23,637	22,207		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.80	0.34	0.52	0.39		

(4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成16年4月の志免町総合福祉施設の利用開始に伴い、施設利用促進のために開始した。	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が減少した状態が続いている。世界情勢の変化による物価や燃料費が高騰し、経費増となっている。	・利用者からバスの早発・延着、運転マナー、ドライバーの接遇等に対する苦情が寄せられている。 ・交通不便地域の住民からは、福祉巡回バスに代わる交通手段の導入を求める声がある。

2 分析・検証(CHECK)

	分		·検証(Cl	_	()					
			平価の視点				項		評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	立族	策への貢	献度	Ŀ] 貢献度	意高い		」総合計画で巡回バスの運行を町の取組として掲げている。また、巡回バ	
	事	務事	業の成果が」	と位施策	の こ]貢献度	きふつう		スの利用者と施設の開館状況には相関関係があり、巡回バスの運行は 公共施設の利用における利便性向上に貢献していると考えられるため。	
	か)	193	大坑に巨	MID C C]貢献度	医低い			
妥	意	図0.)適切性		Ĺ	2妥当で	ある		巡回バスの運行の目的は、町内移動の利便性向上であり、総合計画に合	
妥当性	(総1		画、町民の二 ノて、意図が通]検討の	余地が	ある	致している。	3
性	か)	- XI C	/ C、总図が返	∄ AJ C AJ.	ر ا]検討の	余地が	多い		
	自治	台体	関与の必	要性	Ĺ	2妥当で	ある		西鉄バス等民間事業者の運行がない経路について、自家用車等他の移	
			が主体で取組]検討の	余地が	ある	動手段が無い町民等の移動手段の確保は自治体が担う必要があるた め。	
			民参画の余均		か)]検討の	余地が	多い		
	成	果0.)向上余地	1]期待す	る成果	が得られている	□令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが変まれる。ことにあることは、10mmでは、10	
			る成果を得ら			/ 成果の)向上余	地がややある	▼更されることにより、人流が変化し、利用者が増加してくると予想され ▼るため。	
	ある	か)		1) නැඇ	373.]成果の)向上余	地が多い	1.0/c/00°	
有	対	象0.)適切性		Ĺ	/ 適切で	ゔある		福祉巡回バスは対象者を限定せず、すべての町民が利用可能であるた	
玅	(意	図を	達成するうえ とが最も有効	で、現状などの	た	〕改善の)余地が	ややある	一め、適切である。	2
性	効な	対象	とか最も有効 を設定はない	か、他に か)	† [〕改善の)余地が	多い		
	手	设の.)適切性			適切で	ある		定時定路線の運行形態でなく、需要に応じた運行形態という選択肢も	
			達成するうえ 最も有効か、個]改善の)余地が	ややある	あり、今後研究していく必要がある。	
			まひ行 幼が、11	凹に有効	~ []改善の	余地が	多い		
	業	傍 σ.)効率化]効率的	りである		役場開庁日とバス運行日が異なる、車庫がシーメイトにあるといった事情で、車	
	(業)	務手	順、関与職員	人数にこ	ou []改善の)余地が	ややある	一両故障やクレーム対応等不測の事態に効率的に対応することが難しくなってい る。利用者に影響が出ないように、一部の事務については引き続きシーメイトの	
	て見	直し	の余地はなり	いか)]改善の	余地が	多い	協力が必要である。	
效	投力	入二	ストの適切	辺性	Ĺ	/ 適切で	ゔある		軽油価格の上昇や物価高騰、車両老朽化による修繕が増え、経費は	
率	(投)		るコストは適	正か、削	減]改善の	余地が	ややある	↑年々上昇しているが、安全な運行に必要な経費であり、削減することは ・望ましくない。	2
性	の余	地は	はないか)			」改善の	余地が	多い		
	財》	原確	保の適切	性]適切で	ある		現在無料であるが、有料化することも可能である。しかし、有料化には	
			負担は適正だ	か、国、県	·等 [\]改善の	余地が	ややある	】地域公共交通会議における交通関係者の同意と国土交通大臣の許可が ■必要であり、すぐに有料化することができない。	
	の補	助等	手はないか)			」改善の	余地が	多い	一切安くのり、すくに有杯化することがくさない。	
					妥	:当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
				点0	1点	2点	3点		イルス感染症の影響により利用者数は横ばいであるが、令和5年度はマスク	
			いずれか0点	d	С	С	С	田寺か飯和さ 物価・燃料費=	れるため、利用者数が徐々に増えてくるのではないかと予想される。世界 高騰の影響や車両・設備の老朽化により運行経費が増大しているが、今後も	ツば 安全
	,,	有						な運行に努め	ていく。	
4	分上	有効性	いずれか1点	С	С	С	С	本事業は、地域	或公共交通会議でオンデマンドバスの導入について合意を得たため、令和!	
1	折・	性・	合計4点	С	С	b	b		止となる予定である。福祉巡回バスの利用者データから利用頻度の多い地 ・し、今後の地域交通の改善につなげていきたい。	域や
1	剣	効 率	HP1 17///				~	时间市で万年	い、7次の地域又地の以音にフなけていさたい。	
1	iШ	半 性	合計5点	С	b	b	a			
	結果	-	合計6点	С	b	а	а			
7	√		ды ом		J	u	u			
				課題	が小	しあり	業終			
			b			直しが				
					, ,	3.3				

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

7,5					力方向性		成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			_	7/1-0	77J IPJ 12	_	
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	(à	終了	廃止			

[福岡県志免町]

基本性	青報	☑令	和04年度 実施計画事業				事務事業コード	0515202
Ę	事務事業名		地域公共交通会議運営事業		担当課	経営企画課	担当係	政策推進係
総体合計	施策	15	快適な都市基盤の整備	予	会計	01 一般会計		
合				算	款	02 総務費		
画系	取り組み方針	15-	快適な住環境を整える	科目	項	03 企画費		
凹水	4人 ンルゼロンンコエト	2		1	目	01 企画総務費	•	
根挑	心法令条例等	志免	町地域公共交通会議設置要綱	個	別計画			
実施	期間 □04	 年度の	Dみ ✓単年度繰返 R 4 年度より開始	4		□期間限定(複数年	=) 年度~	· 年度

1 計画·実施(PLAN·DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象 (## 67 #)	⑦ 地域公共交通会議	団体	_	1	1
事	(誰を、何を)	①				
		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	町内の地域公共交通に関する方針等の合意形成が行われる 				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	地域公共交通会議の開催を行う(開催通知、資料準備、議事要旨作成、委員報酬支払等)				

(2)指標達成状況

(4/1		7770							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	地域公共交通会議実施回数	1		目標	-	2	3	100.0%
					実績	_			
1	成果	オンデマンドバス導入の合意形成	1	回	目標	-	1	1	100.0%
'	PAZK	コンプ・マーハハサバの日心が成	'		実績	-	1		100.070
ゥ					目標				
					実績				
I					目標				
					実績				
オ					目標				
7]					実績				
カ					目標				
71					実績				

(3)総事業費の推移

		財源内訳(単位:千円)	03 ^年 (決算		04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金、地方伯	責	0	0	0	0		
事	4.00	受益者負担		0	0	0	0		
業	経	その他特定財源		0	0	0	0		
未	費	一般財源		0	0	77	144		
費		合計(A)		0	0	77	144	186	
		(内 会計年度任用職員)	(件費)						
		正職員人件費[按分](B)				5,582	4,885		
		トータルコスト(A)+(B)		0	0	5,659	5,029		
関	与職員	員数(単位:人) 正耶	戦員			0.73	0.63		

(4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
高齢化が進行する中で、将来の日常生活での移動手段の確保に不安な住民が増えており、町内のそういった地域からはオンデマンドバスの導入の検討を求める要望書が提出された。それに伴い、町の公共交通として、予約に応じ運行する「デマンド型交通(区域運行)」の導入を検討するための材料として実証実験を実施するに当たり、公共交通関係者による検討・協議を行い、合意形成を図る、地域公共交通会議を設置するために事業を開始した。	地域住民の高齢化や、町内の主要道路の慢性的な渋滞により、町内移動について様々な要望が挙がっている。町運営の福祉巡回バスについても、新バス停の設置や増便、ルート変更などの要望が挙がっており、現状の志免町の交通について不満を感じている人が多くなっている。	特になし。

2 分析・検証(CHECK)

_	71/1/		検証(CF 価の視点				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	施	策への貢	献度		✓ 貢献	度高い		町内の公共交通の現状とこれからについて協議し、今後の方針が決ま	
			業の成果が」				度ふつう		ることで、利便性の向上につながると考えられるため。	
	日相 ⁹ か)	9 安	の実現に直	柿してい	ره (ه	貢献!	度低い			
妥	意図] の	適切性			✓妥当で	である		総合計画及び総合戦略の「時代やニーズに合った町内の交通手段につ	
当	(総合	計画	画、町民の二	ーズ、法	令	□検討	D余地加	 ある	いて調査、研究します」に直結するため。	3
性	か)	(I) U	て、意図が通	11 (LO)	ව	□検討	D余地加	多い		
	自治	体	関与の必	要性		☑妥当で	である		自治体が運営する交通体系についての議論の場であるため、自治体が	
			が主体で取締			□検討(D余地力	 ある	主体で取り組むべき事業である。	
			民参画の余均		か)	□検討	D余地力	多い		
	成果	もの	向上余地			☑期待到	する成果	が得られている	令和4年度中に2回の会議を実施し、その中でオンデマンドバス導入の	
			る成果を得ら る成果をあ			□成果の	D向上组	き地がややある	合意形成を取ることができたため、期待する成果を得られたと言える。	
	あるか		ODER CO	17 जगान	5/J`	□成果の	D向上组	≷地が多い		
.H			適切性			☑適切で	である		新しい交通事業の導入、附随事項の決定などには、地域公共交通会議	
			達成するうえ が最も有効		大の右	□改善の	D余地力	ややある	での合意が必要になるため。	3
性	効な対	付象	が最も有効設定はない	か)	. н	□改善の	D余地加	多い		
	手 段	きの	適切性			☑適切で	である		新しい交通事業の導入、附随事項の決定などには、地域公共交通会議	
			達成するうえ も有効か、M			□改善の	D余地加	でやある	での合意が必要になるため。	
	手段に	はな	いか)	GIC 137%	, 0.	□改善の	D余地力	多い		
	業務	3O)	効率化				勺である		会議委員との連絡、交通事業者との打ち合わせなど、必要最低限の人 数で対応している。	
	(業務	手順	頁、関与職員	人数に	つい	=		ややある	女で対心している。	
			の余地はなり			改善の	D余地加	多い		
XVI	投人	.□.	ストの適ち	奶性		✓ 適切			会議実施後に発生する報償費は最低限であり、削減の余地はない。	
率	(投入	する	るコストは適 ないか)	正か、削	減	=		ややある		3
I L				ж			D余地力	多い		
	財源	帷	保の適切	仕		☑適切で			会議体の運営自体についての国・県からの補助はなく、受益者には負担 が発生していないため適正である。	
	(受益の神服	者負	負担は適正だ はないか)	小、国、県	等	=		ややある	が完工しているいため過止である。	
	O) III	w -u	16.60.13))余地力			
				0 ±	_	妥当性	1 o ±		検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など) 9月30日と2月20日に会議を実施し、参加いただいた交通関係者からそ	文字
			_	0点	1;	点 2点	3点	P和4年度は、 見をいただき	、2月20日の会議では、志免町にオンデマンドバスの導入の合意が降りた	1念
			いずれか0点	d	(C C	С	2回の会議の「	中で、町民との要望・合意形成や今後の情報発信、道路や交通法規に関する	る点
分	1	有	いずれか1点	С		; c	С		であるとの指摘もあったため、関係各所と確認を行いながら、会議運営・幸	8告
析	T 校	有 効生	0.3.102.13			, ,	C	を進めていき	/こし1。	
•		•	合計4点	С		b	b		事業に併せて、オンデマンドバス運行事業もスタートしていくため、会議内	での
杉	9 3	初 - 车	合計5点	С	k	b	а	情報や意見を	取りこぼすことなく、より良い地域交通を作っていくことに努めたい。	
記紹		率 生	日司り出	C		D	а			
集			合計6点	С	k	а	а			
			a	業務ある		内容は通	動切で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	1						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
				コストの)方向性	Ē	INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPACA
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1315102
哥	事務事業名		道路維持管理事業	į	旦当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総合計画系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算	会計款	01 一般会計 08 土木費		
計画系	取り組み方針	15- 1	安全で便利な道路環境を整える	科目	項目	02 道路橋梁費 02 道路維持費		
根拠法令条例等 道路法、志免町道路管理条例				個	別計画			
実施期間 □04年度のみ □単年度繰返 不明 年度より開始 [□期間限定(複数年	:) 年度~	- 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象	⑦町道	m	156,556	156,728	156,954
事	(誰を、何を)	(1)				
		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・円滑に道路通行ができる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	町道における事故防止と災害時等の迅速な対応ができる体制の整備と名 土木等)と年間契約を結び、町道の維持管理を行う ・日常パトロールや通報等による職員での修繕 ・各種契約事務(舗装工事、樹木管理、草刈など)	圣種 専	門業者(舒	載、樹木	管理、

(2)指標達成状況

(2/)	11示廷/从1	/////							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	道路補修箇所数	1	箇所	目標	89	90	90	100.0%
,	71137)			四//	実績	90	90		100.070
1	活動	樹木管理本数	^	本	目標	1,560	1,510	1,000	96.0%
-1	心到	倒小目垤平奴	1	4	実績	1,510	1,450		90.0%
ウ	活動	草刈面積	^	m 2	目標	60,000	60,000	64,000	100.0%
.,	泊勁	早刈 川 傾 		m2	実績	57,800	60,000		100.0%
エ	成果	管理不足が起因となる事故件数	1	件	目標	0	0	0	
	以木	官垤小佐が佐囚とはる事政计数	Ψ	11	実績	0	0		
才					目標				
7]					実績				
カ					目標				
71					実績				

(3)総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	会、地方債	0	0	0	0		
事	4.77	受益者	負担	1	10	0	10		
業	経	その他特	定財源	0	0	1	0		
未	費	一般則	才源	124,200	135,773	134,707	111,716		
費		合計((A)	124,201	135,783	134,708	111,726		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	13,800	10,716	10,936	11,621		
		トータルコスト(A	()+(B)	138,001	146,499	145,644	123,347		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	1.83	1.40	1.43	1.50		

(4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ ②事務事業を取り巻く環境の変化 ③事務事業に対する関係者からの意見	。安主
道路舗装整備率の高まりと人口や交通量の 増加による道路維持管理に対する要望が強 くなってきたため、本事業が開始された。 しましたでいる。さらには、本格的な舗装改 良工事も財政面から先送りされる事が多い ため、本事業の必要性が増大している。	道路

2 分析・検証(CHECK)

2	分孙	_	検証(Cl	_	()						
		_	価の視点					項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	施	策への貢	献度		☑貢献	度高い	١		この事業の目的である町道を円滑に通行できる状態にすることで快適	
	事務日共	事	業の成果が」 の実現に直	と位施策 結してし	のス	□貢献	度ふつ	う		な住環境が整ったまちが実現できる。	
	か)	9 🕏	の大坑に巨	神口でい	, S	□貢献	度低い	١			
32	意図	(]の	適切性			☑妥当	である			道路法、志免町道路管理条例に沿って道路環境を整えているため妥当	
当			画、町民の二			□検討	の余地	りが	ある	である。	3
性	等に対 か)	対し	て、意図が通	⊎別 ぐめ	ි	□検討	の余地	りが	多い		
	自治	体	関与の必	要性		☑妥当	である			公共の道路であるため行政による管理は必要である	
	(自治	体	が主体で取組	まかべき	事	□検討	の余地	りが	ある		
			民参画の余り			□検討	の余地	りが	多い		
	成果	₹の	向上余地			☑期待	する成	果	が得られている	修繕が必要な箇所を早期発見し対処することや、整備を行うことで苦情	
			る成果を得ら			□成果	の向上	:余	地がややある	件数の減少につながる	
	後期であるた		る成果をあ	ける余功	97)\ -	□成果	の向上	:余	地が多い		
有	対象	きの	適切性				である			公衆用道路や公有地を対象としているため適切	
効	110		達成するうえ				の余地	bが.	ややある		3
性	対象認効な対	設足 対象	が最も有効	か、他に か)	有		の余地	りが	多い		
	手段	えの	適切性			✓適切	である			舗装に関して、優先度をつけ対処を行っている。樹木や草刈りに関して	
			達成するうえ				の余地	bが.	ややある	は、パトロールや住民からの電話により随時対処を行っているため適切	
			も有効か、他 いか)	凹に有効	なー	□改善	の余地	りが:	多い	である	
	業務	弱の	効率化			☑効率	的であ	る		随時職員で情報を共有し業務にあたっているため改善の余地はなし	
	(業務	科	順、関与職員	人数に	- 211	□改善	の余地	bが.	ややある		
	て見述	直し	の余地はなり	いか)		□改善	の余地	りが	多い		
効	投入	ヘコ	ストの適ち	70性		☑適切	である			必要最低限の予算を計上しており削減の余地はない	
率	(投入	्रु	るコストは適	正か、削	l減	□改善	の余地	bが.	ややある		3
性	の余均	地は	ないか)			□改善	の余地	りが:	多い		
	財源	確	保の適切	性		☑適切	である			補助金等はないため現状が適正である	
	(受益	绪!	負担は適正な	か、国、県	等	□改善	の余地	りが [.]	ややある		
	の補助	助等	はないか)			□改善	の余地	りが	多い		
		<u> </u>			3	妥当性				検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
				0点	1,	5 2点	(3,	点	舗装に関しては	よ、劣化が多く見られたので苦情は増加している。また、同箇所を繰り返し	舗装
			いずれか0点	d	С	С			することがある	るため全体的に見直し、優先順位をつけ根本的な整備を実施している。樹 、予算の関係上住民からの要望があってもすべてに対応できないため今年	下管の
	7	右		5	H		+			、予算の関係工住氏がつの安皇がのうてもりへてに対応できないだのテュ 因となった。来年度予算増額しないと苦情がさらに増えることになる。	FI又VJ
5		自 効性	いずれか1点	С	С	С		:			
木	万 位	生・	合計4点	С	С	b	b				
村	全 交	効	니미낙제	C		J					
1	E 🔓	率件	合計5点	С	b	b	a	ì			
糸	吉 一	_	스타스트		L-						
身	₹		合計6点	С	b	a	ĉ	1			
			a	業務ある		容は	適切⁻	で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	12/1/10/110						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			コストの方向性			Ē	INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPACA
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	√令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1315103
Ę	事務事業名		道路新設改良事業	ł	旦当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総体合	施策	15	快適な都市基盤の整備	予 算	会計款	01 一般会計 08 土木費		
総合計画 系	取り組み方針	15- 1	安全で便利な道路環境を整える	科目	項 目	02 道路橋梁費 03 道路新設改		
根拠法令条例等 道路法、志免町道路管理条例					別計画	OS ZELLWINGS	.XX	
実施	期間 🔲 04	年度の	Dみ	台		□期間限定(複数年	主) 年度~	~ 年度

1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

	ががずべい口りてずべい					
		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事	①対象	⑦ 整備(工事)が必要な町道箇所	箇所	7	8	4
榜事	(誰を、何を)	①				
事務事業		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・必要な整備(工事)が行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	道路の現状や町民の方、町内会からの要望等により、道路の新設や改良 ・現地調査の実施、施工方法の検討、設計積算 ・工事契約事務	を行う			

(2)指標達成状況

(-/)		1,000							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	工事実施箇所数	1	件	目標 実績	7	7 8	4	114.3%
1	成果	 整備実施率(工事実施箇所数/整備[工事]が	1	%	日標	100.0	100.0	100.0	85.7%
-1	以未	必要な箇所数)	l	70	実績	85.7	85.7		65.7%
ウ					目標 実績				
					目標				
エ					実績				
オ					目標				
					実績				
カ					目標 実績				

(3)総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	念、地方債	29,200	119,900	126,400	51,300		
事	4.77	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源		0	0	0		
*	費	一般則	才源	80,601	201,904	164,690	49,320		
費		合計(109,801	321,804	291,090	100,620	321,804	
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	汾](B)	12,064	8,568	8,719	7,905		
		トータルコスト(<i>A</i>	v)+(B)	121,865	330,372	299,808	108,525		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	1.60	1.12	1.14	1.02		

(4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
市街化が進むにつれ、人口と交通量の増加による道路整備に対する要望が強くなってきたため、本事業が開始された。	本町および隣接市町の人口増加に伴い、通行車両も増加し道路の老朽化も進んでいるため、本事業の必要性が増大している。国からの補助金等にも注視している。	町民より道路拡幅を含む改良工事が望まれている。

2 分析・検証(CHECK)

		・検証(Ch 評価の視点		·		項	[]	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定				
-		施策への貢			▽貢献			町内の良好な道路機能を確保することを目的に、道路の新設や改良工	.,,_				
		業の成果が 」			=	度ふつう		事を行うことで、快適な住環境が整った街づくりにつながるため。					
	∃指す: ひ)	姿の実現に直	結してい	る	□貢献	度低い		1					
妥	急図の	の適切性			✓妥当	である		町民からの要望や渋滞緩和、交通の利便性の向上を目的に、道路拡幅					
当(総合計	画、町民の二	一ズ、法	令		の余地が	ある	や歩道の整備などを行うため。	3				
性	手に対! か)	して、意図が通	動切であ	る		の余地が	多い	1					
E	自治的	本関与の必	要性		✓妥当	である		公衆用道路という生活基盤を対象とし、誰もが通行する良好な道路機					
(白治は	トが主体で取組	おべき	事		の余地が	ぶ る	一能を維持することを目的としているため。					
		主民参画の余り			□検討	の余地が	多い	1					
F.	成果(の向上余地			☑期待	する成果	が得られている	財政上の問題で大規模な改良工事はできないが、国庫補助事業を含め					
		る成果を得ら			□成果	の向上系	戻地がややある	予算確保ができれば成果は確実に向上する。					
	食期付 あるか)	する成果をあ)	ける赤圷	Π'),	□成果	の向上系	除地が多い	1					
有	付象(の適切性			☑適切	である		必要箇所を選定している。					
効((意図を達成するうえで、現状の対象設定が最も有効か、他に有				□改善	の余地が	ややある	1	3				
性交	対象設定が最も有効が、他に1 効な対象設定はないか) 手段の適切性			.行	□改善	の余地が	多い	7					
1 7	手段の	の適切性			☑適切	である		現時点では、最適工法での実施に努めている。					
		を 達成するうえ 最も有効か、 ff			□改善	の余地が	ややある						
		ないか)	BIC H XI	1'&	□改善	の余地が	多い						
Ì	業務の	の効率化			☑効率	的である	ı	法令等遵守し、限られた職員にて事業実施している。					
(業務手	順、関与職員	人数に	つい	□改善	の余地が	でやある						
		しの余地はなり			□改善	の余地が	多い						
効 ^力	役入.	コストの適ち	刃性		☑ 適切である			┃限られた予算であるため、現場状況を吟味して優先順位をつけ工事を ┃ まなしている。引き続き、関連が開き業の活用やコストが抑えられるエ	3				
率(投入す	るコストは適	正か、削	減 □ 改善の余地が			でやある	──実施している。引き続き、国庫補助事業の活用やコストが抑えられ -──法などを採用する。					
l'L		はないか)				の余地が	多い						
ļ	才 源6	雀保の適切	忹		☑適切			国庫補助事業および、公共施設等適正管理推進事業債(公適債)等によ り予算を確保し、優先順位に基づき計画的に改良工事を実施している。					
(受益者	新負担は適正な 等はないか)	か、国、県	等			ややある	ソプ弁を唯体の、後元限位に奉うさ計画的に以及工事を失応している。 -					
	り開助	守はないか)				の余地が							
					妥当性			・検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	+ =				
		$\overline{}$	0点	1;	点 2点	3点		であるため、現場状況を吟味して優先順位をつけ工事を実施した。引き続 活用やコストが抑えられる工法なども検討していきたい。	さ、国				
		いずれか0点	d	(c c	С	广川的子木の						
4	有	いずれか1点				С	1						
分析		01910J.1m	С	(С	C							
•	.	合計4点	С		b	b							
検	効率性	合計5点	С	k	b	2							
証結	性	口削り出	C) 0	а							
果		合計6点	С	k	o a	а							
		a	業務ある		内容は	適切で							

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

		0110			り方向性		成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	減縮小維持拡大			
	成果の	拡充		С	В	Α	
今後		維持		Е	D		
今後の方向性	の方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		成果・費用とも維持		維持			

[福岡県志免町]

基本情	青報	□令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業					事務事業コード	1315104	
叫	事務事業名		橋梁維持管理事業	†	担当課	都市整備課		担当係	都市整備係	:
総体合	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算	会計款	01	一般会計 土木費			
総合計画系	取り組み方針	15- 1	安全で便利な道路環境を整える	科目	項目		道路橋梁費 橋梁維持費			
根拠法令条例等			1	個	國別計画					
実施	期間 🔲 04	1年度の	Dみ	台		□ 期間	引限定(複数年)) 年度~	~ 年度	

1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

	がいっていてもんだって										
務事業の		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)					
	① 対象	⑦ 志免町が管理する橋梁	橋	87	87	87					
	(誰を、何を)	0									
		(b)									
目的	・安全かつ円滑に通行できる ②意図 (対象をどのような状態にしたいか)										
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	事故防止、災害時等の迅速な対応ができる体制整備と点検等の維持管理・日常パトロールや定期点検による修繕の実施・各種契約事務(補修工事、点検、調査など)	を行っ	Ò							

(2)指標達成状況

(4/1		7770							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	パトロール実施回数	1		目標 実績	12 12	12	12	100.0%
						12	14		
1	活動	老朽化対策設計数	1	橋	目標	Ü	3	0	100.0%
'	/口到		ı	11PJ	実績	0	3		100.070
ゥ	活動	老朽化対策工事数	1	件	目標	2	0	3	
	/口到	七竹 6 7 6 7 7 7 7 7 7 7		П	実績	2	0		
エ	成果	管理不足が原因の事故件数	1	件	目標	0	0	0	
	以木	官垤小佐が原因の事政什致	V	TT.	実績	0	0		
才					目標				
را					実績				
カ					目標				
71					実績				

(3)総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	念、地方債	10,775	7,700	7,006	13,200		
事	4.77	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	12,163	11,000	9,479	13,304		
費		合計((A)	22,938	18,700	16,485	26,504		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	2,796	3,058	3,058	7,747		
		トータルコスト(<i>A</i>	()+(B)	25,734	21,758	19,543	34,251		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.37	0.40	0.40	1.00		

(4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
町内の橋梁は老朽化が急速に進んでいる。	日本全土で橋梁維持管理の重要性がクロー	国や県等より橋梁老朽化対策等を進めるよ
このような背景から、今後増大が見込まれる	ズアップされている。	うに指示あり。
橋梁の修繕・架替えに要する経費のコスト縮		
減を図るため、点検を含む維持管理業務を		
行い、橋梁の長寿命化を図り道路網の安全		
性・信頼性を確保する。		

2	分析	沂·	検証(Ch	HEC	()											
		Ē	呼価の視点	点				項		評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
	上位	拉施	策への貢	献度		V	貢献度	高い		事故防止と災害時等の迅速な対応ができる体制を整えておくと共に、						
			業の成果が」				貢献度	ふつう		■車輌や歩行者の安全かつ円滑な交通を図るため、点検を含む維持管理 ■を行うことで、快適な住環境が整ったまちづくりにつながる。						
	ロfg か)	9 3	の実現に直	作してい	い る		貢献度	低い		▼で1] Jことで、沃適は仕環境が登りたまり Jへりにしなかる。 ┃						
妥	意図	$\langle \sigma \rangle$	適切性			~	妥当で	ある		将来にわたって快適な住環境を整ったまちを実現するには、安全で便						
当	(総合	信	画、町民の二	ーズ、注	た		検討の	余地が	ある	利な道路環境を整える必要があるため。	3					
性	寺に) か)	対し	て、意図が通	切であ	ර		検討の	余地が	多い]						
	自治	计体	関与の必	要性		V	妥当で	ある		道路橋梁は自治体の管理物であるため、妥当である。						
	(自治	体	が主体で取組	目むべき	事		検討の	余地が	ある]						
	業か、	、住	民参画の余り	也はない	か)		検討の	余地が	多い]						
	成果	₹σ,)向上余地			✓	期待す	る成果	が得られている	志免町橋梁個別施設計画に基づき、修繕が必要な橋梁を選定し対策を						
			る成果を得ら				成果の	向上余	地がややある	 行っているため効率よく成果を上げることができている。						
	俊期(ある)		る成果をあ	ける赤	也か		成果の	向上余	地が多い]						
有	対象	₹Ø,	適切性			V	適切で	ある		志免町橋梁個別施設計画に基づき、修繕が必要な橋梁を対象にしてい	1					
効			達成するうえ				改善の	余地が	ややある	ేవే.	3					
性	対象の	設及 対象	≧が最も有効 セ設定はない	か、他に か)	- 有		改善の	余地が	多い	1						
	手段	ξ <i>0</i> ,	適切性			~	適切で	ある		志免町橋梁個別施設計画に基づき、最も有効な手段を選定している。						
			達成するうえ				改善の	余地が	ややある]						
			最も有効か、ℓ よいか)	凹に有分	IJ/J.		改善の	余地が	多い]						
	業務	ያ σ,)効率化			✓	効率的	である		専門知識を持った業者に業務委託を行うことで、最小の事務量で済ま						
	(業務手順、関与職員人数につい						□改善の余地がややある			せている。						
	て見	直し	の余地はなり	いか)			改善の	余地が	多い]						
効	投入	(J	ストの適切	トの適切性 ②適切である						設計等の業務委託のなかで、修繕方法の比較検討を行い、最も適正な						
率			るコストは適	正か、肖	削減		改善の	余地が	ややある	一 方法で対策を実施している。 						
性	の余り	地に	はないか)					余地が	多い							
	財源	丽	保の適切	性		\ \	適切で	ある		国の補助金を活用している。						
			負担は適正な	い、国、リ	具等		改善の	余地が	ややある							
	の補風	助等	学はないか)				改善の	余地が	多い							
		/	/			妥当	当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
				O点	1	点	2点	3点		による橋梁補修設計業務を行った。維持の重要性を再認識し、計画の推進	に努					
			いずれか0点	d		С	С	С	めていきたい	0						
		有														
1 5] 3	効	いずれか1点	С		С	С	С								
木	T 1	性・	合計4点	С		С	b	b								
村		効	пы тик	Ù	_	C	Σ	٥								
1	Εĺ	率性	合計5点	С		b	b	а								
糸			合計6点	С		b	а	а								
			a	業務ある		内容	別は適	切で								

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	1						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
				コストの)方向性	Ē	INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPACA
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	☑令	和04年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	1315105
Ħ	事務事業名		交通安全施設整備·維持管理事業	1	担当課	都市整備課	担当係	都市整備係
総体	施策	15	快適な都市基盤の整備	予	会計款	01 一般会計 08 土木費		
総合計画系	取り組み方針	15-	 安全で便利な道路環境を整える	算科目	項	08 工不負 02 道路橋梁費		
凹 术	4人・フルログアノコル	1	文主(民代の追回承視と正元の	H	目	06 交通安全施	<u>設整備費</u>	
根挑	処法令条例等			個	別計画			
実施	期間 🔲 04	 年度の	のみ 単年度繰返 S 58 年度より開始	台		□期間限定(複数年	F) 年度~	4 年度

1 計画·実施(PLAN·DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

事務事業		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事	①対象	② 道路転落等危険対象箇所	箇所	181	181	181
) 第	(誰を、何を)	② 交通安全プログラム対象箇所	箇所	23	93	93
業		(0)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・歩行者、自転車及び自動車の安全確保が行われ、交通事故が起こらない 	1			
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	町内会からの要望や道路パトロール、交通安全プログラムなどに基づい カーブミラー、区画線、横断防止柵、転落防止柵、道路照明等)の整備を行 ・道路パトロール、整備箇所の検討、整備箇所の設計 ・契約事務	C、交) j う	函安全施 認	设(ガード	レール、

(2)指標達成状況

(4/1		7,776							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	交通安全施設整備数(転落防止柵、横断防止柵)	1	m	目標	70	175	210	148.6%
		भाग /			実績	70	260		
1	活動	 交通安全施設整備数(道路照明[新設])	1	灯	目標	0	0	0	100.0%
	/口玉//	文地女主他改走佣女(但由思切[初改])	I	7.1	実績	0	0		100.076
ゥ	活動	 交通安全施設整備数(カーブミラー)	^	箇所	目標	0	0	0	100.0%
	/白到		ı	山山川	実績	0	4		100.076
I	活動	既存施設修繕件数	1	件	目標	50	50	50	100.0%
	/口到	以行他改修信什么		ПТ	実績	49	50		100.076
オ	成果	対策箇所数(道路転落等危険対象箇所)	1	箇所	目標	4	1	1	100.0%
7)	以木		l	四川	実績	4	1		100.076
カ	成果	対策箇所数(交通安全プログラム対象箇所)	Λ.	箇所	目標	19		5	94.6%
//	以木	対水回川数(火地女主ノロブノム対象回川)		山川	実績	19	88		5 4 .070

(3)総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	念、地方債	10,018	11,000	8,616	11,000		
事	4.77	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	7,452	27,320	21,999	12,560		
*	費	一般則	才源	24,575	15,600	23,714	16,247		
費	,	合計((A)	42,045	53,920	54,329	39,807	53,920	
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	汾](B)	5,279	5,661	5,743	8,143		
		トータルコスト(<i>A</i>	v)+(B)	47,324	59,581	60,073	47,950		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.70	0.74	0.75	1.05		

(4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
交通量の増加、交通事故を撲滅するため、交通安全特別交付金が昭和58年から交付されるようになったことによる。	学路における安全対策の要望が増加している。	毎年次のような要望が町内会等から寄せられている。 ・見通しの悪い交差点に新規カーブミラーの設置 ・自動車のスピード抑制 ・歩行者の安全対策

2 分析・検証(CHECK)

2 5		·検証(Cl	_	()										
		評価の視点				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
	二位於	を策への貢	献度		マラ 貢献度	寝高い		交通安全上の危険がある箇所について、安全確保され、交通事故が防						
(1	事務事	業の成果が」 姿の実現に直	上位施策	の []貢献度	きふつう		」止されることは快適な住環境の整ったまちづくりにつながる。						
かか		女の大坑に巨	神口でい] ا]貢献度	延低い								
妥意	1図(の適切性			☑妥当で	ある		地元要望や通学路合同点検の結果に基づいた内容であるため、適切で						
		画、町民の二			一検討の	余地が	ある	ある。	3					
性が		して、意図が通	■別での	° [余地が	多い]						
É	自治体	本関与の必	要性	[☑妥当で	ある		公共の道路における交通安全施設の整備であり、町が実施すべき事業						
(自治体	が主体で取組	且むべき	事 [一検討の	余地が	ある	である。						
業	か、信	主民参画の余地	也はない	か) [一検討の	余地が	多い]						
月	は果の	の向上余地	,	[☑期待す	る成果	が得られている	交通安全プログラムに基づき、計画的に対策を実施しているため、期待						
		る成果を得ら			一成果の	向上余	地がややある	する成果を得られている。						
	:期付 :るか)	する成果をあ)	ける赤坑		一成果の	向上余	地が多い]						
有	∮象(の適切性		[✓適切で	ある		地元要望や通学路合同点検の結果に基づいた内容であるため、対策の						
効(達成するうえ			」改善の	余地が	ややある	対象としては適切である。	3					
		定が最も有効 象設定はない		¹	」改善の	余地が	多い]						
手	F段(の適切性		[✓適切で	ある		地元要望や通学路合同点検の結果に基づき対策を行っているため、住						
		達成するうえ			」改善の	余地が	ややある	民のニーズに沿っており最も有効な手段であると考える。						
		最も有効か、他 ないか)	凹に有効	ري ا	」改善の	余地が	多い]						
業	養務(の効率化		[夕 効率的	うである		要望箇所の拾い上げ作業は、町内会および、各小中学校が行うなどし、						
()	業務手	-順、関与職員	人数に	วเ [」改善の	余地が	ややある	業務の効率化を行っている。						
Ť	見直	しの余地はなり	いか)	1	改善の	余地が	多い							
効 ^技	设入二	入コストの適切性 ②適切である						交通安全プログラムのなかで最もコストパフォーマンスが高い対策を検	1					
率 (‡	投入す	入するコストは適正か、削減 □ 改善の余地がやて					ややある	討しているため、適切である。	3					
性の	余地	はないか)]	改善の	余地が	多い							
貝	才源研	催保の適切	性	[✓適切で	ある		交通安全特別交付金も活用しており、適正である。						
(3	受益者	賃担は適正 た	か、国、県	!等 [」改善の	余地が	ややある]						
0	補助	等はないか)			」改善の	余地が	多い]						
				妥	当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
			0点	1点	2点	3点		グラムや令和3年度緊急工事合同点検結果、道路転落等危険箇所対策計画	等に					
		いずれか0点	d	С	С	С	基つさ、慢先別	度に応じて効率的な対策を実施することができた。						
	有			H	Ť									
分	効性	いずれか1点	С	С	С	С								
析	性	승計/1占	_	С	b	b								
検	金 効		C	U	D									
証	率性	合計5点	С	b	b	a								
結果	1.7	合計6点		h		_								
米		日刊の出	С	b	a	a								
		a	業務ある		容は適	切で								

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	コストの方向性						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			-	コントの	ノカ門	Ė.	
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
)	成果	•費用	とも糸	性持	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□令	和04年度 実施計画事業 二総合戦略該当事業					事務事業コード	1315107
哥	事務事業名		都市計画道路志免・宇美線建設事業		担当課	都市	整備課	担当係	都市整備係
40 11				T.,	会計				
総合 計画 系	施策	15	快適な都市基盤の整備	予算	款				
計		1 -		昇					
温系	取り組み方針	15-	安全で便利な道路環境を整える	科目	- 坦				
	p() (12))))	l	X 1 X 3 3 2 4 3 2 2 3		目				
±⊟±	心法令条例等			/1	型別計画 国別計画				
11又12	他本下来的守			11.	9万1百1四				
実施	期間 🔲 04	年度の	のみ □単年度繰返 年度より開	冶		✓ 期間	限定(複数年)H 25 年度~	R 8 年度

1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象	⑦ 都市計画道路志免宇美線(計画決定区間[志免町内])	m	1,700	1,700	1,700
事	(誰を、何を)	(1)				
		\bigcirc				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・遅滞なく建設事業が行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	福岡県が事業主体である都市計画道路志免宇美線(幅員25m)の早期完 ・志免宇美線調整会議(福岡県、志免町、宇美町)への参加 ・負担金支払事務	成に向	句けた取終	祖を行う	

(2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	調整会議参加回数	1		目標	10	7	3	57.1%
,	口到		I	П	実績	7	4		37.170
1	成果	事業認可区間(志免町内)	1	m	目標	820	820	820	100.0%
1	以木	事未成り区间(心光型 / 1)	ı	111	実績	820	820		100.076
ゥ	成果	 用地買収進捗率(筆数ベース)	1	%	目標	-	81	100	100.0%
	以木	市地貝以延沙平(羊奴/、 人)	ı	/0	実績	72	81		100.076
I	成果	工事進捗率	1	%	目標	_	20	30	100.0%
	以木	工事に]少平		/0	実績	-	20		100.076
オ					目標				
~1					実績				
カ					目標				
//					実績				

(3) 総事業費の推移

		財源内訳(単位		03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	念、地方債	0	0	0	0		
事	4-	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	0	0	0	0		
費		合計((A)	0	0	0	0		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	12,810	10,716	10,716	9,302		
		トータルコスト(<i>A</i>	()+(B)	12,810	10,716	10,716	9,302		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	1.70	1.40	1.40	1.20		

(4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
本路線は、都市計画道路であり宇美町内の 工区も完成に近づいたことから、志免町内 の次期工区について事業の実施が必要と なったため。	県道68号線において、慢性的な渋滞を改善させ、歩行者の安全と良好な沿道環境を確保することに加え、災害時の緊急事態に対応できる道路網整備のニーズが高まっている。	地域住民においても交通事情の改善について非常にニーズが高い。

2 分析・検証(CHECK)

<u>2</u>		·検証(Cl	_	()					
		評価の視点				項	l 🗏	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
		施策への貢			☑貢献			│都市計画道路志免宇美線が遅滞なく事業が行われることは、道路の利 ↑便性の向上につながり、快適な住環境が整ったまちの実現に直結する。	
(事務導	事業の成果が」 一姿の実現に直	と位施策 結してし	の	□貢献	度ふつう			
	か)	女の人がに臣	про С С	. 0	□貢献	度低い			
妥 当	意図(の適切性			☑妥当で	である		総合計画に掲げる町が取り組むべき「安全で便利な道路環境を整える」	
当		計画、町民の二 して、意図が通			□検討の	D余地が	ある]という方針に合致し、適切である。	3
	か) か)	うので、原因ので	<u> </u>	8	□検討の	D余地が	多い		
E	自治	体関与の必	要性		☑妥当で	である		志免宇美線は公共の道路である。事業主体は県であるものの都市計画	
(自治体	本が主体で取締	きべる且	事	□検討の	D余地が	ある	道路の設定は町にて行っている為、町の関与は必要である。	
		住民参画の余り		か)	□検討の	D余地が	多い		
F.	成果(の向上余地			□期待3	する成果	が得られている	関係機関とより綿密な協議を行い連携することで成果向上余地はあ	
		する成果を得ら			☑成果0	D向上余	地がややある	ිරිං	
	あるか		1) ठऊम	BU	□成果0	D向上余	地が多い		
有	対象(の適切性			☑適切で	である		都市計画道路であり、より良い交通環境の整備を目的としており妥当で	
	意図を	を達成するうえ 定が最も有効	で、現状が、地に	や	改善の	D余地が	ややある	す ある。	2
性	別家設	促が最も有効 像設定はない	か、他に か)	Ħ	改善の	D余地が	多い		
ļ (Ē	手段(の適切性			☑適切で	である		調整会議に参加し早期完成に向けて取り組む事で遅滞なく事業が行わ	
		を達成するうえ 、最も有効か、他			□ 改善の	の余地が	ややある] れる為、手段は適切である。	
		ないか)	BIC H XI	<i>'</i> &	□ 改善の	の余地が	多い		
1	業務(の効率化			☑効率的	勺である		県と実施する協議等について最低限の人員で対応しており見直しの余	
(業務手	手順、関与職員	人数につ	οlι	□改善の	D余地が	ややある	世はない。	
7	て見直	しの余地はなり	いか)		□改善の	D余地が	多い		
効	投入.	コストの適り	70性		☑適切で	である		基準に基づくものであり、町が負担する投入コストは適正である。	
率 (するコストは適	正か、削	減	□改善の	D余地が	ややある		3
1		はないか)			□改善の	D余地が	多い		
ļ	財源研	確保の適切	性		☑適切で	である		事業主体は県であるが、一部は町の負担が必要である。町が負担する財産による。	
		者負担は適正な	か、国、県	等	□改善0	D余地が	ややある] 源については町の予算を確保する事が適切である。	
0	の補助)等はないか)			□改善0	D余地が	-		
					妥当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点	1,	点 2点	3点		、3年度に引き続き福岡県による用地買収、また、それに伴う用地測量、補	賞調
		いずれか0点	d		: c	c	宜、 上事寺 かき 	実施された。早期完成に向けて、福岡県と連携し事業の推進に努める。	
	有	<u> </u>							
分	効	いずれか1点	С		; c	С			
析・	性	合計4点	С		; b	b	1		
検	効	j		L,		_			
証	一件	合計5点	С	b	b	а			
結果		合計6点	С	k	а	а			
		а	業務ある		内容は通	動で			

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

3 /							成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			=	コストの)方向性	ŧ	スペップごに(水 / 元の/) (
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[)	成果	・費用	とも糸	推持	

[福岡県志免町]

基本性	青報	√令	和04年度 実施計画事業				事務事業コード	1315202
Ę	事務事業名		都市計画事務	ł	旦当課	都市整備課	担当係	都市計画係
総体	施策	15	快適な都市基盤の整備	予.算	会計款	01 一般会計 08 土木費		
総合計画系	取り組み方針	15-	快適な住環境を整える	科目	項	05 都市計画費		
四水	-1// > (170) > 251	2	INCO CHESTOS CHESTOS	П	目	01 都市計画総	務費	
根挑	见法令条例等	都市	計画法	個	別計画	志免町都市計画、	7スタープラ:	ン
実施	期間 🔲 04	4年度の	Dみ ✓単年度繰返 S 45 年度より開始	Ä		□期間限定(複数年	=) 年度~	4 年度

1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)
事務事業	①対象	⑦ 都市計画区域(志免町全域)	km2	8.69	8.69	8.69
事	(誰を、何を)	(1)				
業		\bigcirc				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・都市計画に沿った土地利用が行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	都市計画に沿った土地利用を推進する取組を行う ・都市計画に関する調書の作成、法定手続き事務、都市計画審議会運営事 ・都市計画図の管理、販売	務			

(2)指標達成状況

(-/)		7.00							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	都市計画に関する法定手続き事務件数	1	件	目標	1	1	1	
					実績	U	U		
1	活動	都市計画審議会開催回数		件	目標	1	2	1	100.0%
'	石刧		I	- 11	実績	0	2		100.070
ゥ	成果	 市街化調整区域の市街地形成面積	1	m2	目標	0	0	0	
	NA.		ı	1112	実績	0	0		
I	成果	既成市街地用途転換面積	1	m2	目標	11,000	11,000	165,000	
	NA.		ı	1112	実績	0	0		
オ					目標				
~1					実績				
カ					目標				
73					実績				

(3)総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	念、地方債	0	1,000	1,143	0		
事		受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	0	0		
未	費	一般則	才源	4,672	7,540	4,816	9,789		
費		合計((A)	4,672	8,540	5,959	9,789	2,560	
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	7,545	8,030	7,272	5,112		
		トータルコスト(A	()+(B)	12,217	16,570	13,232	14,901		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	1.00	1.05	0.95	0.66		

(4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、昭和43年に都市計画法が施行された。	なし	住民から市街化調整区域の地区計画の策定と、用途地域変更の要望が寄せられている。

2 分析・検証(CHECK)

<u>2</u> 5		・検証(Ch	_	()										
		評価の視点				項		評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
		徳策への貢			✓ 貢献度	高い		┃地域の特性に合った土地利用を促進することで、上位計画である志免 ┃町都市計画マスタープランに掲げられた将来都市像の実現につながる。						
(事	『務事 指する	『業の成果が」 姿の実現に直	上位施策 結してい	のしる		きふつう		町部川計画マスターノフノに拘けられた行木部川家の天坑にフなかる。						
か))		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		貢献度									
女		の適切性			☑妥当で	ある		第6次総合計画の町が取り組むべきことの「快適な住環境を整える」ことに、都市計画に沿った土地利用を促進することを記載しているため。	3					
		├画、町民の二 して、意図が通			検討の			こに、明い可国にカンに土地が市でに戻することで記載しているため。						
1土 か))				検討の 	余地が	多い							
	治亿	本関与の必	要性	L	<u> </u>			都市計画は各自治体により定められる。都市計画法に基づき決定まで には住民の意見を十分に伺う必要がある。						
(É	治体	が主体で取締	且むべき	事	=	余地が		には圧氏の息光を「力に回う必安かのる。						
		主民参画の余り		וא)	検討の 	余地が	多い							
1.74	• • • •	の向上余地			=		が得られている	都市計画マスタープランに沿った形で線引き見直しや用途地域の変更 が行われることにより、成果が向上する。						
		る成果を得らする成果をあ					地がややある	が111110ととにより、欧未が円上りる。						
ある	るか))	., 0,,		一成果の	向上余	地が多い							
.H3		の適切性		<u> </u>	✓ 適切で	ある		都市計画法で規定する都市計画区域が、志免町全域で指定されている						
	記図を 象設を	達成するうえ 定が最も有効	で、現状 か. 他に	で 有	一改善の	余地が	ややある	ため。	2					
加力	な対象	象設定はない	か)	,	一改善の	余地が	多い							
		の適切性			✓ 適切で	ある		都市計画法で定められた手続き等を行っているため。						
		:達成するうえ 最も有効か、(f			改善の	余地が	ややある							
手	段は	ないか)	S1 = 13743		改善の	余地が	多い							
	一份(の効率化			<u>√</u> 効率的			現在の事務従事時間は必要最低限であり、削減の余地はない。						
(業	業務手順、関与職員人数につい ひ善の余り 「見直しの余地はないか)													
10.	以番の未地が多い				多い									
XVI	《人_	」人トの週で	列性	L	☑ 適切である			現在の予算は必要最低限であり、削減の余地はない。						
率 (投	受入す	⁻ るコストは適 はないか)	正か、削	減	=		ややある		3					
			.144-		=	余地が	多い							
川川	小沢竹	催保の適切	性	H	<u>✓</u> 適切で			都市計画に関することは、上位計画の施策を行っていく上でも重要であり、財源 を確保することは必要である。また、都市計画に関することは多岐にわたるた						
		賃担は適正だ 等はないか)	小、国、県	等			ややある	め、その使途によって、特定財源を活用できるものもある。						
	10293	() 10/ 0/ 0/ 1/3 /		- I	改善の	余地か	-	 						
			0 ±		<u> </u>			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など) ほとんどが法定事務のため町の業務としては必須である。						
		$\overline{}$	点0	1点	2点	3点		はこんとが法足事務のだめ町の業務としては必須である。 、都市計画マスタープラン改定に伴う報告や地区計画の申出についての措	置、					
		いずれか0点	d	С	С	С		域における地区計画運用基準の見直しについて、都市計画審議会に諮り審						
分	有	いずれか1点	С	С	С	С	た。		. +					
析	有効性	0.9403 1/11			C	C		田・吉原地区のまちづくりについて、住民説明会を開催し、町の方針を提案 実施した内容をもとに、令和5年度においても継続して推進する。	した。					
•	•	· 合計4点 c c b b · · · · ·		が相子子及に	大阪のたり音をひとに、いれら牛皮にのが、その極帆のでは産する。									
検	効率	合計5点		b	b	_								
証結	性	山田O川	С	D	D	а								
果		合計6点	С	b	а	а								
		a	業務ある	の内	容は適	切で								

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

7,5					方向性		成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
				ייוער	בוניו כל ל	E	
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の方向性	維持		E	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
)	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本情	青報	□令	和04年度 実施計画事業 二総合戦略該当事業	Ė			事務事業コード	1315208
事務事業名			国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会事業	都市整備課	担当係	都市計画係		
₩	11-66	16		マ	会計	01 一般会計		
合 体	総体 合 計 動 系 取り組み方針		健全な行財政運営	予算		02 総務費		
計画系	取り組み方針	16-	公共施設等の効率的・効果的な管理運営を行う	科	項	03 企画費		
曲 糸	4人の祖のカフェ	2	公共施設寺の効率の「効未のな旨注連名を1」。 	' F	目	03 ぼた山対策	費	
根拠法令条例等		粕屋 約	·志免·須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会規	化	固別計画			
実施	期間 🔲 04	年度の	Dみ ✓単年度繰返 R 2 年度より開	始		□期間限定(複数年	(年度~	- 年度

1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

		対象名		03年度	04年度	05年度 (見込)
	①対象 (誰を、何を)	⑦ 粕屋·志免·須惠国鉄炭鉱跡地共同管理協議会	団体	1	1	1
		9				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・円滑に協議が行われる・国鉄志免炭鉱跡地の管理が適正に行われる				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	・協議会からの文書収受事務、協議会の各会議への参加、草刈業務の実施・事務局運営事務(3町で2年ごと輪番制)	拖、協 請	義会への負	9担金支払	与

(2)指標達成状況

	種別	指標名	^{目指すべき} 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	総会参加回数	1		目標	1	1	1	200.0%
	/U ±/J		ı		実績	1	2		200.070
1	活動	 その他会議参加回数	1		目標	4	4	4	75.0%
1	口到	60710公成多加巴奴	I	ы	実績	5	3		73.076
ゥ	活動	負担金額	1	千円	目標	200	200	200	15579.5%
'	/白剉	兵 担並領	l	TI	実績	200	31,159		15579.5%
エ	成果	完了した事業件数	Λ.	件	目標	4	1	1	200.0%
	以木	元」ひた事業件数	l	TT.	実績	3	2		200.0%
才					目標				
7)					実績				
カ					目標				
71					実績				

(3) 総事業費の推移

		財源内訳(単位	:千円)	03年度 (決算値)	04年度 (当初予算)	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	06年度 (計画)	07年度 (計画)
		国·県支出金	会、地方債	0	0	0	0		
事	4-	受益者	負担	0	0	0	0		
業	経	その他特	定財源	0	0	30,959	0		
未	費	一般則	才源	572	583	580	602		
費	^	合計(A)	572	583	31,539	602		
		(内 会計年度任)	用職員人件費)						
		正職員人件費[按	分](B)	3,162	3,829	3,526	2,951		
		トータルコスト(<i>A</i>	()+(B)	3,734	4,412	35,064	3,553		
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.42	0.50	0.46	0.38		

(4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
の一部の議員より長年協議しているにも関	国鉄炭鉱跡地の維持管理方法が法令上正し い状態になった。	なし
わらず前進していないのでスリム化してほしいとの要望が上がり、管理部門が三町長以 エスな歌唱を選挙される「終日」また。 (東京		
下各町職員が運営する「粕屋・志免・須恵国 鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会」が発足し		
たため。		

2 分析・検証(CHECK)

2		・検証(Ch	_	()										
		評価の視点				項		評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
		施策への貢			貢献度	寝高い		┃国鉄炭鉱跡地について3町で協議することにより、継続的な維持管理に						
((事務事 日指す	事業の成果が」 姿の実現に直	と位施策 結してい	の [・ する ・ する ・ では ・ できる ・ で	きふつう		」結び付く。						
1 1	<i>ا</i> ۱۱)		WIO CO	. [貢献度	ぼ低い しょうしん								
妥	意図(の適切性			✓妥当で	ある		国鉄炭鉱跡地は3町共有の普通財産であり、その維持管理は所有者とし						
当	(総合記	計画、町民の二 して、意図が通			検討の	余地が	ある	ての責務であるため妥当。	2					
性	す に別	して、忌凶が返	∃9J C 00	ິ [検討の	余地が	多い							
	自治	体関与の必	要性		☑妥当で	: ある		国鉄炭鉱跡地は3町共有の普通財産であるため、事業主体も3町で協議						
	(自治体が主体で取組むべき事 業か、住民参画の余地はないか)		た日会市の合地はおいか ―				ある	して進める。						
		□快的の未地が				余地が	多い							
J	成果の向上余地				☑期待す	る成果	が得られている	事務局運営は粕屋・志免・須恵国鉄炭鉱跡地共同管理執行協議会規約						
		する成果を得られたか、今 持する成果をあげる余地が)向上余	地がややある	】に則って行われるものであり、規約の範囲内の事務を遂行するもので ■あるため。							
	あるか		1) ठाउँम	3/1/	一成果の	向上余	地が多い	7000/2000						
有	対象(の適切性			✓適切で	: ある		事務局運営は協議会規約に則って行われるものであり、規定の範囲内						
		を達成するうえ			一改善の	余地が	ややある	の事務を遂行するものであるため。	3					
性	対象設定が最も有効か、他に有 一 効な対象設定はないか)		Ħ [□改善の余地が多い										
3	手段の適切性 「図面切である」				✓適切で	ある		事務局運営は協議会規約に則って行われるものであり、規定の範囲内						
		意図を達成するうえで、現状の ・段が最も有効か、他に有効な				余地が	ややある	の事務を遂行するものであるため。 						
		ないか)	eic HW	· [一改善の	余地が	多い							
	業務(の効率化		[夕効率的	うである		事務従事時間も最低限で削減の余地がない。						
((業務	・			余地が	ややある								
				[改善の	余地が	多い							
効 :	投入	受入コストの適切性 / / 適切である				ある		負担金は事務局運営の資金であり、この資金を用い国鉄炭鉱跡地の維						
率((投入す	投入するコストは適正か、削減 □ 改善の余地がややあ			余地が	ややある	#管理(草刈り委託等)を実施ししている為、削減してしまうと維持管理できなくなり、放置状態になってしまう恐れがある。また、本年度にあたっては、国鉄炭鉱跡地の一部を売却し、その売買代金を粕屋・志免・須							
I .—						余地が								多い
	財源	確保の適切	性	[✓適切で	ある		国鉄炭鉱跡地の協議会事業としては、ぼた山の維持管理等を行う協議						
		者負担は適正 た	か、国、県	等 [一改善の	余地が	ややある	一会であるため、国や県の補助はない。						
	の補助	等はないか)			一改善の	余地が	-							
					经当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
			0点	1点	2点	3点		須恵町域内国鉄志免炭鉱跡地の売却(飛地)に際し、粕屋、志免町と須恵町 を締結し、飛地を須恵町に売却した。また、ぼた山の活用について、2件の						
		いずれか0点	d	С	С	С		を神福し、飛地を須思可に完命した。また、はた山の活用について、と中の。今後、ぼた山に関する提案が出された際は、3町での協議となるため、事						
	有							、スムーズな運営を執り行う。	1331-0					
分析		いずれか1点	С	С	С	С								
171	1 11	合計4点	С	С	b	b								
検	対													
証			b	b	a									
結果	1	合計6点	С	b	а	а								
	a 業務のが ある				容は適	切で								

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	V (//C/10						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			コストの方向性			Ē	INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPACA
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	D		成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	☑令	和04年度 実施計画事業 一総合戦略該当	事業					事務事業コード	131520	09
事務事業名			公園管理事業	ŧ	担当課	都	市整備課	担当係	都市整備	鯀	
総体合	施策	15	快適な都市基盤の整備		予.	会計款	01	一般会計 土木費			
総合計画系	取り組み方針	15- 2	快適な住環境を整える		科目	項目	05 02	都市計画費公園管理費			
根拠法令条例等					個	別計画					
実施	期間 🔲 04	1年度の	かみ	り開始	ì		□期間	引限定(複数年)) 年度~	4 年度	

1 計画·実施(PLAN·DO)

(1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	03年度	04年度	05年度 (見込)						
事	①対象	⑦町民	人	46,518	46,575	46,575						
事務事業	(誰を、何を)	① 公園、広場(都市公園、その他)	箇所	70	69	69						
業		(b)										
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・(町民)公園広場を安全で快適に利用できる・(公園・広場)安全に利用できるよう適切に管理される										
事業内容	③手段 (どのようにして) ※04年度に行った主な活動	年間を通して、公園内の樹木管理や清掃、遊具の点検、修繕などの公園(・土地借上げ料の支払事務・年間業務委託契約事務(樹木管理、除草清掃、遊具点検)・その他契約事務	70箇	所)の管理	を行う							

(2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		03年度	04年度	05年度 (見込)	達成率
ア	活動	公園清掃日数	1	日	目標	356	200	178	89.0%
,	/口到	公图/月]市口奴		н	実績	179	178		09.070
1	活動	管理樹木数	1	本	目標	6,531	6,450	6,360	98.6%
-1	/白到	自注例小数	ı	4	実績	6,450	6,360		90.070
ウ	活動	遊具修繕件数	1	件	目標	20	20	20	100.0%
	/白剉/	世共	ı	TT.	実績	20	20		100.076
I	成果	管理不足に起因する事故件数		件	目標	0	0	0	
	N.A.		•	П	実績	0	0		
オ					目標				
~1					実績				
カ					目標				
75					実績				

(3) 総事業費の推移

(3)	(3) 松争未員の担格										
		財源内訳(単位	· 十 田)	03年度	04年度	04年度	05年度	06年度	07年度		
				(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)	(計画)		
		国·県支出金	金、地方 債	601	0	0	0				
事	4 ∇	受益者		0	0	0	0				
業	経	その他特	定財源	44,191	34,030	34,030	6,200				
*	費	一般則	才源	179,590	161,541	153,175	164,478				
費		合計((A)	224,382	195,571	187,205	170,678	195,571			
		(内 会計年度任)	用職員人件費)	12,881	14,095	12,696	14,416				
		正職員人件費[按	分](B)	6,636	9,945	11,170	8,525				
		トータルコスト(<i>A</i>	(A) + (B)	231,018	205,516	198,375	179,203				
関	関与職員数(単位:人) 正職員			0.88	1.30	1.46	1.10				

(4)環境変化·住民意見等

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
多くの都市公園等が整備され、それに伴い維持管理が必要なため。	施設の老巧化や樹木の成長が見られる。	町民から、公園施設(遊具・外柵等)の老巧化に伴う苦情や改善要望、又、樹木の成長による落葉の増加や日照不足の苦情も出ている。

2 分析・検証(CHECK)

2	分朴	斤·検証(Cl	_	()					T. 10.1					
		評価の視点				-	<u> </u>	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
		施策への貢			シ貢献 度	要高い こうしょうしん		公園を維持管理することで良好な住環境及び快適な都市基盤の整備が						
	(事務日指で	事業の成果が ₋ す姿の実現に直	上位施策	の	貢献度	きふつう		確保できる。						
	か)	9 女の大狐に巨	INDO C V	ا د	貢献度	ぼ低い しょうしん								
妥当	意図	の適切性			✓妥当で	ある		公園広場を安全で快適に利用できるようにすることは、上位施策の成	3					
当	(総合計画、町民のニーズ、法令 等に対して、意図が適切である				検討の	余地が	ある	↑果指標である「公園や広場の利用しやすさに満足している町民の割合」 - の向上に直結するため。						
	か)	りして、思凶が	画列(の)	3	検討の	余地が	多い							
	自治	体関与の必	要性		☑妥当で	ある		総合計画に掲げる町が取り組むべきことである「快適な住環境を整え						
	(自治体が主体で取組むべき事				検討の	余地が	ある	る」ことにつながるため。						
	業か、	住民参画の余り	地はない	か)	検討の	余地が	多い							
	成果	の向上余地	ļ		期待す	る成果	が得られている	遊具の要補修診断箇所で修繕を実施できていない箇所があるため、修						
	(期待	する成果を得ら	られたか.	今日が	√ 成果の)向上余	地がややある	】繕計画を立て補修や新設を実施することで成果を向上させることがで ■きる。						
	あるか		ग <i>)</i> श्रुक्तम	B/J,	一成果の	向上余	地が多い							
有	対象	の適切性			✓適切で	ある		志免町管内のすべての公園を対象としている。						
	(意図]を達成するうえ	そで、現状	め	改善の	余地が	ややある		2					
性	対象は対	製定が最も有効か、他に有 は対象設定はないか) □ 改善の余地が多い				余地が	多い							
	手段	め適切性			✓適切で	ある		公園施設に関して樹木管理や清掃、遊具の修繕を行うことで安全に利						
			するうえで、現状の				ややある	用できるよう管理している。管理施設が膨大なため優先度をつけ都度 対処を行っているため適切である。						
		が最も有効が、1 まないか)	凹に有効	1'4	□改善の余地が多い			, and = 1,2 × × × × × × × × × × × × × × × × × × ×						
	業務	の効率化			夕 効率的	うである		専門業者に業務委託を行うことで、最小の事務量で事業を実施してい						
	(業務	手順、関与職員人数につい □ 改善の余地がや			余地が	ややある	వ .							
		直しの余地はな			一改善の	余地が	多い							
効	投入	、コストの適 ^t	団切性 ☑ 適切である			ある		限られた予算の中で、現場状況を吟味して優先順位をつけ委託・工事等	3					
率	(投入	するコストは適	は適正か、削減			余地が	ややある	を実施している。						
1'		也はないか)			□改善の余地が多い									
	財源	確保の適切	性		☑適切である			公園施設の維持管理に関しては、現状対象となる補助等はない。						
		諸負担は適正か、国、県等					ややある	එ あි						
	の補助	助等はないか)			改善の	余地が	-							
				3	经当性			検証結果に対する総括(04年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
			0点	1点	2点	3点		りの年数が経過した公園も多く、各公園において施設の老朽化が顕著とな						
		いずれか0点	d	c	С	С	さくめり、遅5 管理において:	具のみならずトイレやベンチ、照明灯などの公園施設の修繕を行った。また も防犯上の観点から樹木の間引きや強剪定、寄植を低く刈り込むなどを行	、倒个 Tつ					
,.	≢	有						万化などは、事故防止のため委託による安全点検や日常点検などで早期に						
一分		が いずれか1点 生	С	С	С	С	することを今後	後も心がけたい。						
17)	1 作	ェ ・ 合計4点	С	С	b	b								
楨	E H	数												
訂		幣 合計5点	С	b	b	а								
紀		合計6点	С	b	а	а								
		а	業務ある		容は適	切で								
		<u> </u>	6.00											

3 方針(ACTION) [分析・検証結果をもとに06年度以降の対応方針を検討する]

<u> </u>	V (//C/10						成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			コストの方向性			Ē	INVICANDE AND A HEAD WIND CAMPACA
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	D		成果	・費用	とも終	辪	